

「志」の原点「命知」と「250年計画」

創業者が悟った企業の真の使命(=命知)

1932年とある宗教本部を訪問

無償の奉仕活動
喜びに満ちて働く
人々の姿



創業者 37歳

人には(物) (心)の豊かさが必要

宗教 = (心) の豊かさ
事業 = (物) の豊かさ

ともに聖なる仕事!
そこに企業の真使命がある!

創業者の話の後、会場は興奮のさかばに。全員が次々に所感を発表



当時を振り返って...

創業者

250年とは...
人生50年の時代。
25年 = 1人が社会で働く期間 = 1節

10時に始まり
終わったのは18時!
可〜熱気だった!

うちの社長、
マジリアルなこと言う。
何でマジリアルな!

ハニサーイ
とていつ
叫んでいた人!

創業者の訪で皆が1つに!
「共にかんがひよう」という気持ちか
自然に湧き上がってきた。

1932年5月5日 第1回創業記念式を挙げる



幹部社員全員(168人)を集め
「松下電器の真の使命は、生産に次ぐ生産にあり。
物資を無尽蔵に、樂土を建設することである」と発表

建設時代 10年	活動時代 10年	社会の 貢献 5年
-------------	-------------	-----------------

25年(1節)

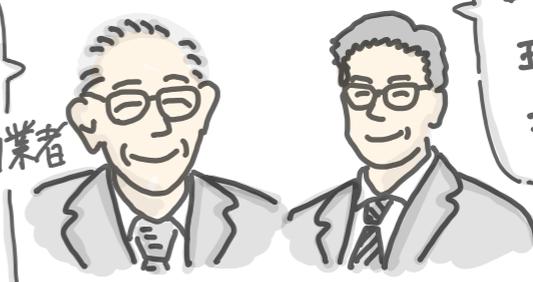
25年を1節として10回
250年か172
理想の社会(樂土)を
実現する

今を犠牲にするという意味ではない。
自分たちの幸せの上に次代の幸せを。

「250年計画」

今につながる「250年計画」

次の250年 = さらに
高い理想に向かう。
その時の理想は
その時の人にとって
伝統を大切に継承される



日に新たに挑む!
現状を常に疑い、
さらに新しいやり方へ

パナソニックグループ
CEO 楠見 雄規

創業者の志を受け継いで。さらに未来へつなぐ
今のやり方にとらわれずに新しいやり方で
物と心が共に豊かになる理想の社会に!